

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	デジタル演習 1	
科目基礎情報					
開設学科	CG映像科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	90時間
単位数	3単位	授業形態	実習		
教科書/教材	授業内で配布される資料データ				
担当教員情報					
担当教員	兼松・齋藤		実務経験の有無・職種	有・CGデザイナー	
学習目的					
CGデザイナーにとってコンピュータを用いた画像加工技術は必須の能力となっている。本科目ではAdobe社のPhotoshop、After Effectsの基礎的な操作方法を演習を通して体得する。又、デジタル画像生成に必要な不可欠な基礎知識としてファイルフォーマット、解像度、画像加工について学習する。ここで修得する知識・技術は今後、様々なCG映像表現を行う際に有効に活用できる。					
到達目標					
ペイント系ソフトのソフトウェアのPhotoshopでは、ペンタブレットを使用したブラシによる描画、フォトレタッチ(画像の補正)、画像の合成・加工、テクスチャーの描画方法を習得する。映像制作・合成ソフトウェアのAfter Effectsでは、エフェクトや合成、モーショングラフィックスの基礎を習得し、デモリールのタイトルを作成する。					
教育方法等					
授業概要	①授業ではそれぞれのソフトウェアの基本操作を学び、機能毎に練習する。 ②与えられた課題に対して、習得した技術を組み合わせて表現する。 ③課題に対して創造性を発揮し、期限内に提出する。				
注意点	使用するソフトウェアは非常に多くの機能を持つ為、オペレーションの習熟向上には、放課後開放等の自習時間を使い、操作方法の復習に取り組む事。授業内で配布される資料データ、課題については各自でバックアップを確実に取る事。授業時限数の4分の3以上出席しない者は評価しない(不合格とする)。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	50%	課題を総合的に評価する。		
	小テスト	25%	毎回の授業において、理解度を確認するためにチェックを行う。		
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	25%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	Photoshop1 基本操作		Photoshopの基本操作を理解し、色調補正、レイヤーを習得する		
2回	Photoshop2 画像作成と加工 1		ペンタブレットの使い方を習得し、ブラシツールで描画できる		
3回	Photoshop3 画像作成と加工 2		画像の合成、切り抜き、アルファチャンネルを理解する		
4回	Photoshop4 フォトレタッチ 1		修復ブラシツール等のレタッチツールを習得し、写真素材をフォトレタッチできる		
5回	Photoshop5 フォトレタッチ 2		様々な画像の切り抜き、フォトコラージュを制作できる		
6回	Photoshop6 テクスチャー 1		適切なテクスチャーサイズを知り、各自で撮影したテクスチャーをシームレスに加工できる		
7回	Photoshop7 テクスチャー 2		パターンを用いた複雑なテクスチャーを描画できる		
8回	Photoshop8 テクスチャー 3		シェイプレイヤー用いた複雑なテクスチャーを描画できる		
9回	AfterEffects1 エフェクト・合成 1		AfterEffectsの基本操作を理解し、映像素材を合成する。エフェクトの基礎を理解する		
10回	AfterEffects2 エフェクト・合成 2		アニメーションプリセットを用いてモーションタイポグラフィを制作できる		
11回	AfterEffects3 エフェクト・合成 3		IllustratorのデータをAfterEffectsに読み込み、親子関係、タイムリマップ、マスクを習得する		
12回	AfterEffects4 エフェクト・合成 4		PhotoshopのデータをAfterEffectsに読み込みトラックマット、キーイングを習得する		
13回	AfterEffects5 制作と進捗確認		習得した技術を生かし、課題制作(デモリールのタイトル)を行い、進捗は随時確認する		
14回	AfterEffects5 制作と進捗確認		習得した技術を生かし、課題制作(デモリールのタイトル)を行い、進捗は随時確認する		
15回	AfterEffects6 課題提出と講評		課題提出と講評により、客観的な視点を持つ		